

平成 21 年 12 月に、2008 年症例を参考値として初めて統計データを作成したところ、2008 年届出票受理途中であり、遡り調査未実施の状況下で DCO 率は 30.8%でした。

今年度は初めての「遡り調査」を実施して、さらに精度の高いがん登録を目指したいと思います。

また、県内の医療機関等の協力を得るため、関係者研修会や担当者会議、地域がん登録推進委員会を開催し、関係者の意見や助言をいただきながら「山梨県地域がん登録」の推進を図っています。

4. おわりに

地域がん登録の開始から今日まで、国立がん研究センター祖父江部長、味木室長、放射線影響研究所の片山先生、堂道先生、山形県の柴田先生はじめ、他県の実験医の皆様方に御助言・御指導とサポートをいただく中で4年目を迎えることができましたことに改めて御礼申し上げます。今後も、精度の向上をめざし、関係職員一同力を合わせてがんばっていききたいと思っておりますので、引き続き、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

第 32 回国際がん登録協議会学術集会 (IACR2010) の開催直前情報

松田 智大

事務局、IACR2010 会場委員長

本協議会が共催する第 32 回国際がん登録協議会学術集会 (IACR2010) 開催まであと 3 ヶ月を切りました。本会は、10 月 12 日 (火) から 14 日 (木) の日程で開催されます。日本のがん登録は、現在いろいろな意味で岐路に立たされています。そんな中 IACR2010 が日本で開催されるということは運命的・象徴的であり、感慨深いところです。IACR2010 は皆様の記憶にずっと残るようなモニュメンタルなものとなるでしょう。

1. まだまだ間に合う！

9 月 10 日までオンライン参加登録受付中

WEB (<http://www.cancerinfo.jp/iacr2010/>) による事前登録を 9 月 10 日まで受け付けます。事前登録料は

45,000 円、当日登録料は 50,000 円で、昼食やウェルカムレセプション、夕食会などの費用が含まれます。本協議会の正会員、賛助会員の機関・団体に所属される関係者の皆様向けに、食事を含まない特別登録料 15,000 円も準備致しましたのでこちらもご利用ください (<http://www.jacr.info/index.html>)。

10 月 11 日 (月) のプレミーティングコースでは、「生存解析」の講義を、同分野での第一人者であり国際プロジェクト CONCORD study の中心人物でもあるロンドン大学公衆衛生学・熱帯医学大学院のコールマン先生にお願いしています。是非奮ってご参加下さい。

2. 世界 50 カ国弱からの参加予定者

—文字通りの国際学会に—

本協議会会員の皆様のご協力により、204 題の演題投稿がありました。投稿演題の主著者の国籍を地域別に見ますと、アフリカ・中南米 9%、アジア・オセアニア 58%、ヨーロッパ 30%、北米 3%となります。国名を羅列すると、アルジェリア、アルゼンチン、オーストラリア、ベラルーシ、ブルガリア、カメルーン... と総勢 47 カ国、ワールドカップのような多彩な国々が揃いました。他の臨床医学系学会と比して小規模ではありますが、文字通りの国際交流の貴重な機会となるでしょう。

キーノートスピーチも、様々な地域の先生方をお願いしています。日本からは、児玉和紀先生 (放射線影響研究所)、溝上雅史先生 (国立国際医療センター国府台病院肝炎・免疫研究センター)、また海外からは、David Forman 先生 (英国、IARC)、Freddie Bray 先生 (ノルウェー、IARC)、Renee Otter 先生 (オランダ、IKN)、Jean-Michel Lutz 先生 (スイス、NICER/ ENCR)、Joe Lipscomb 先生 (米国、Emory 大学)、Hai-Rim Shin 先生 (韓国、WHO)、You-lin Qiao 先生 (中国、Cancer Institute/Hospital Chinese Academy of Medical Sciences) と、錚々たる顔ぶれとなっています。

3. アジアがん登録ネットワーク (Asian Cancer Registry Network) キックオフミーティング

世界に占める人口の割合や、近年のアジア諸国の急速な発展に基づいた、アジアのプレゼンスは大きく、これは、がん登録の分野でも同じことです。欧米諸国に遅れを取っているデータの品質やインフラを改善すべく、標準化や情報交換、共同研究を通じて、お互いに発展しようというコンセンサスのもと、本協議会理事長の津熊先生を中心に、アジアがん登録ネットワークが設立されます。14日(木) 午後にキックオフミーティングを開催致します。参加は無料、興味のある方はどなたでも歓迎ですので、足をお運びください。

4. 広報と募金活動

企業や関連団体には、寄付金のご協力をお願いしており、ご要望に応じて、企業ブース及び抄録集への広告掲載も寄付の形態として準備しております。お問い合わせ、ご質問、ご要望等、IACR2010事務局 (iacr32@accessbrain.co.jp) までお願いいたします。

5. ソーシャルイベント

本会前夜(11日)から会期中、最終日まで、楽しいソーシャルイベントを企画しています。IACR2010はちょっと高かったけど、会費の元を取った!と思わせるようなものになるよう、今から準備を頑張っています。ご期待下さい。

地域がん登録全国協議会 第19回学術集会・公開講座のご案内 (第二報)

岡本 直幸

第19回学術集会 会長

地域がん登録全国協議会第19回学術集会を下記のように開催いたしますので、多くの方々のご参加をお願いいたします。今回の開催は、第32回の国際がん登録協議会学術集会に合わせての開催を計画しています関係で、例年の9月初旬ではなく10月に国際学会と合わせて開催をすることになりました。今回は、ポスター発表のみの開催となります。また、地域がん登録の理解を深めてもらうことを目的として公開講

座の形で地域がん登録のアピールをしたいと思っています。世界の地域がん登録事情を見聞するまたとない機会となっておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時:平成22年10月15日(金) 9:30~16:00

会場:横浜赤レンガ倉庫1号館(神奈川県・横浜市)

主 題:『がん登録と社会の調和

~Society and Cancer Registration: towards Harmonization~』

参加費:無料

プログラム:

(9:30~10:00 ポスター演題受付)

10:00~11:20 ポスターセッション

1. 学術部門 2. 登録室紹介部門

ポスター賞表彰式も行います。

11:20~12:00 (平成22年度第二回総会)

12:00~13:00 昼食

13:00~16:00 公開講座

公開講座はメインテーマ「がん登録と社会との調和」、サブテーマ「がん対策とがん登録」として実施いたします。演者および講演の内容は以下の通りです。同時通訳があります。

演者	講演内容
ブレンダ・K・エドワーズ(米国) 国際がん登録協議会 米国国立がん研究所	開会の挨拶
デビッド・フォアマン(英国) 国際がん研究機関 がん情報部	世界のがんモニタリングとがん対策事情
ソヒー・パク(韓国) 国立がんセンター がん登録・生物統計部門	積極的なモニタリングから有効ながん対策へ~韓国の実例より~
メイシュ・ライ(台湾) 国立台湾大学公共衛生学院 予防医学研究所	積極的なモニタリングから有効ながん対策へ~台湾の実例より~
祖父江 友孝(日本) 国立ガン研究センター がん対策情報センター がん情報・統計部	積極的なモニタリングから有効ながん対策へ~日本の実例より~
岡本 直幸(日本) 神奈川県立がんセンター 地域がん登録全国協議会 前理事長	積極的なモニタリングから有効ながん対策へ~神奈川県の実例より~